

【平成 26 年度・前期学期・ミクロ経済学 II・課題】

☆ 平成 27 年 1 月 6 日講義開始時締め切り

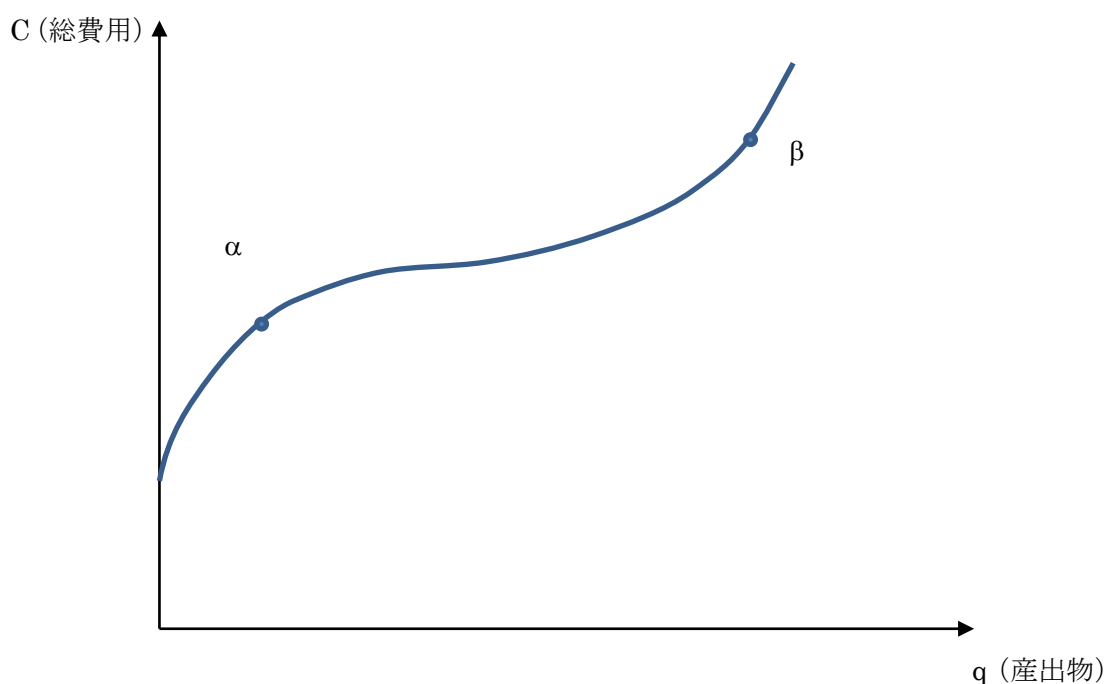
【問 1】 次のように、ある企業の総費用関数が与えられている。この企業が自らの産出物を市場で販売したときの市場価格が 8 である場合について後の設問に答えなさい。ただし C は総費用 q は企業の産出量を表す。

$$\text{総費用関数 } C = 0.5q^3 - 2.25q^2 + 3.5q + 1.5$$

- (1) この費用関数で、固定費はいくらになるか示しなさい。また可変費を表す表現はどのようなか示しなさい。(ヒント: 固定費は産出がなくても企業が支払わなくてはならない費用です。)
- (2) この費用関数から限界費用関数・平均費用関数・平均可変費の表現(数式)を示しなさい。
- (4) この企業が利潤最大化する場合の 1 階の条件を示し、利潤最大化する産出量(最適産出量)を求めなさい。

【問 2】 下の総費用関数について、次ページからの図を用いて答えなさい(次ページからの解答を添付して提出すること)。

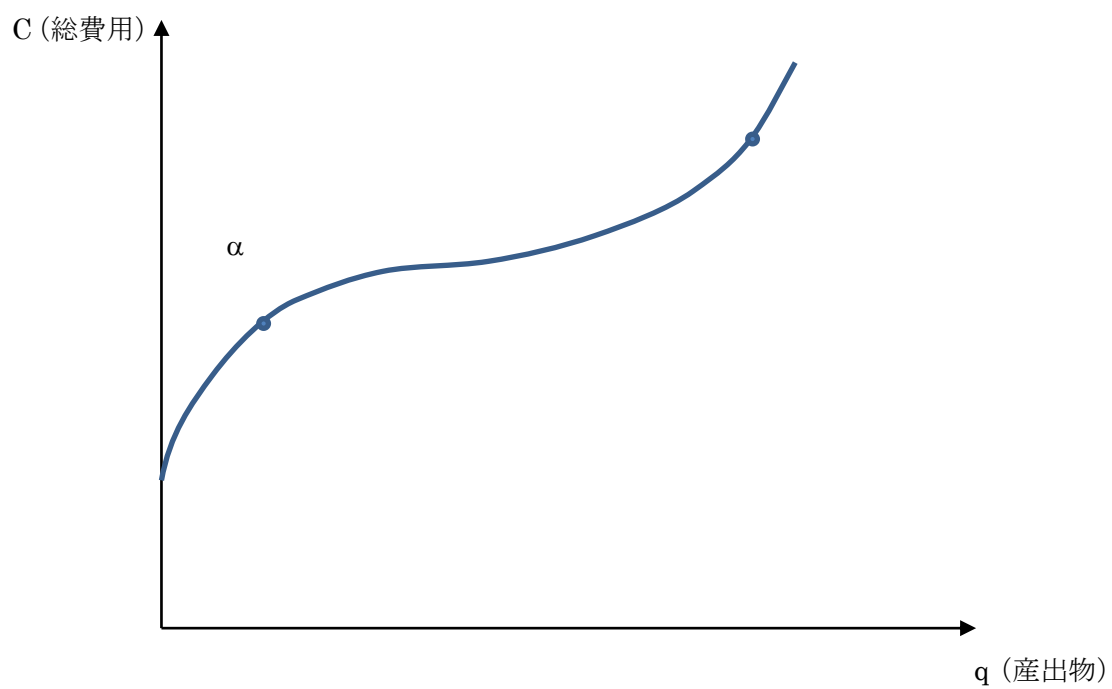
- (1) 点 α について平均費用 (AC)、限界費用 (MC)、平均可変費用 (AVC) を表す補助線を描きいれ、これらの補助線の傾きの大きさを比べながら、これらがどの順番で大きいか示しなさい。
- (2) 点 β について同じことを (1) と同じことを繰り返しなさい。
- (3) 限界費用と平均費用が同じになるような点をこの関数上に見つけなさい。また同じ図の上で限界費用と平均可変費用が同じになるような点を見つけなさい。
- (4) (1) から (3) の情報を利用しながら、総費用関数の真下に平均費用関数、平均可変費用関数、限界費用関数を図上で導出しなさい。導出された様々な費用関数を表すグラフの縦軸と横軸が何を表すか、正しく定めること。



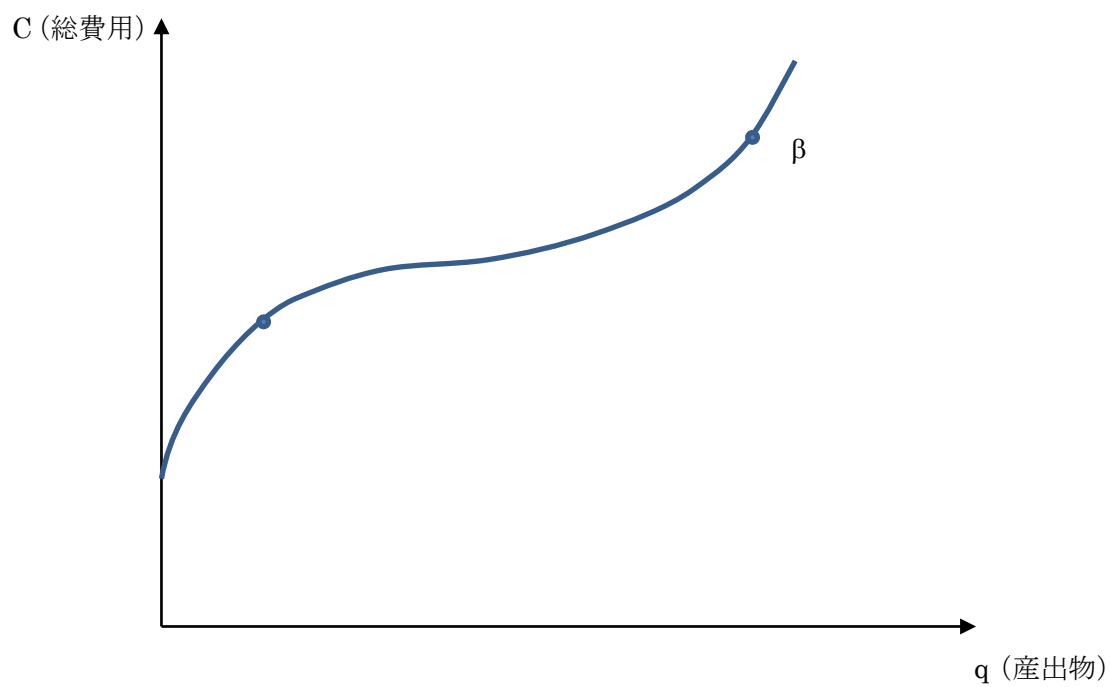
☆ 提出用のグラフ。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(1)



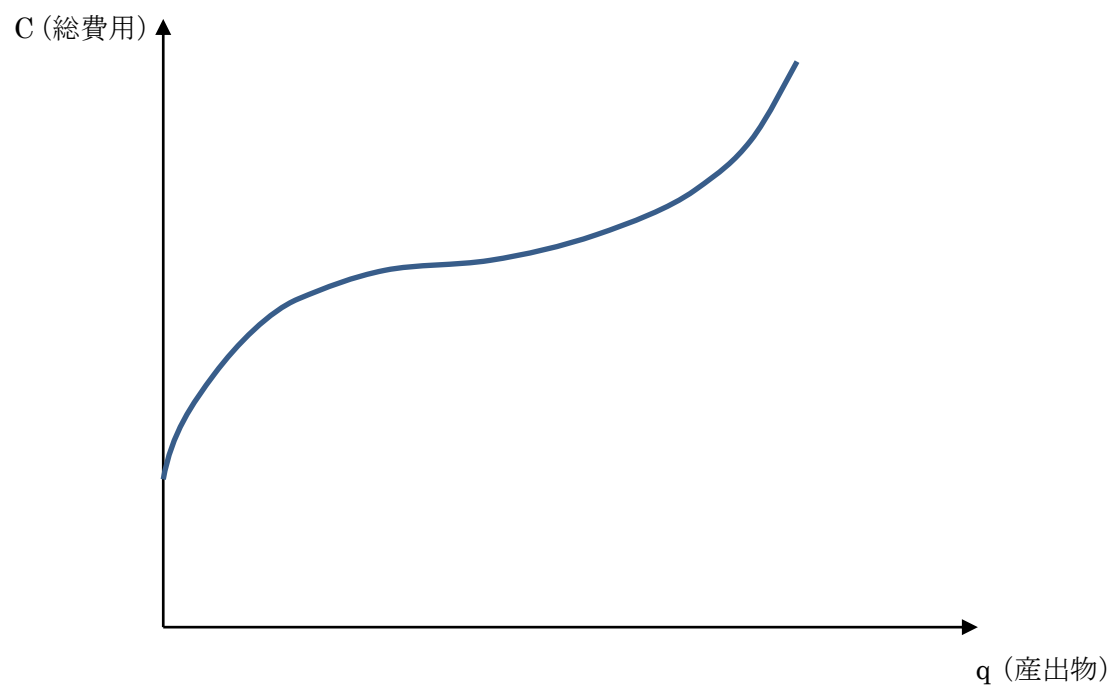
(2)



☆ 提出用のグラフ。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(3)



☆ 提出用のグラフ。

学籍番号 _____ 氏名 _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

